

☆難病療養相談会を開催しました

南多摩保健所では、11月13日（火曜日）に「神経難病の特徴と日常生活と在宅リハビリの留意点」をテーマとした療養相談会を開催しました。管内（日野市、多摩市、稲城市）で在宅療養をされている神経難病の患者・家族と、相談会に参加された患者・家族の支援を行う地域関係者合計12名の参加がありました。

講義では、虹が丘リハビリケアセンターの理学療法士である村山竜一先生から、脊髄小脳変性症など神経難病の特徴と、進行によって生じる症状や生活上の問題と対応方法、リハビリの考え方についてお話いただきました。



また、立ち上がり動作などの日常生活動作と介助方法や留意点については、実技を交えて具体的に教えていただきました。ご本人はもとより一緒に参加された家族の方も体を動かしながら熱心にメモをとり、先生のお話を聞いていました。講義後に早速実践される参加者もいらっしゃいました。

その後、希望者に対して講師による個別相談の時間を設け、個々の具体的な困りごとや疑問に対して応じていただきました。

患者・家族からは「実演で行った動作すべてを今後意識して使ってみたい。」「細やかな相談に乗っていただけの貴重な機会だった。」、地域関係者からは「今後のために大変参考になった。」等の感想が寄せられました。

当保健所では、今後も地域関係者と連携しながら在宅難病患者の療養支援に取り組んでいきます。